

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第118号 2021年3月17日 発行



COVID-19と向き合って

公益社団法人 石川県作業療法士会 会長 東川 哲朗
(医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院)

COVID-19は現在第三波の真っただ中であると言える。身近なところで感染、感染者の受け入れを行われた関係者の皆様の労を取りつつ当事者となられた方にはお見舞い申し上げる。COVID-19はこれからワクチン接種も始まり新しいステージに進むと思われる。感染症とどう向き合うか、大きな課題を頂いた一年間であったが、これは次年度も続くことと覚悟している。

県士会の事業は、中止にせざるを得ない事が多くあった。その中で新たなオンラインという道具で新しい取り組みも始まり、それらは軌道に乗りつつある。今後の当会の大きな武器となると考える。次年度はこれらの道具を駆使し、新会員歓迎会や学会などを必ず開催するという事をお伝えする。

そんな中、現在私が最も心配しているのは会員のOTマインドである。実はCOVID-19の問題が発生する前から各種研修会の参加数や県士会事業への協力者の割合が減っている事を危惧していた。COVID-19はそのマインド低下に拍車をかけた様に感じている。これは作業療法士会だけの問題で無いと言われているが、会員の新しい知識習得・技術研鑽や職能団体所属意識の低下が著しい。全体のトレンドはそうであるが、一方で大変熱心な会員の皆様も多く存在している。つまり二極化してきているという事である。どの会員もある程度のマインドで自己研鑽、県士会活動に取り組んでいた時代から、「する人」、「しない人」が分かれてきているということである。これは会

として「作業療法士であればある程度の能力を担保できます」という事が難しくなってきたことを意味する。そんな状況を良いと考えていないので、今後「士会員であれば保証できます」と言える様にしていきたいと考えている。一つには卒後教育のキャリアデザインの作成と実施であると考えている。構想を言い始めてから少し時間が経ってしまい恐縮であるが、この事案への取り組みに着手する。

作業療法はリハビリテーション医学の中でも特に、活動と参加に焦点を当てた役割を担う。その為には対象者の理解、アプローチといった臨床思考が非常に大事であると考えている。臨床思考の学習研鑽は臨床経験や事例検討・MTDLPなどで培われると思う。これこそが作業療法の技術と言える。若い会員が飛びつきたくなる各種治療技術はその臨床思考の中で、実施時期や使用の妥当性を考えたうえで用いられる事で大きな道具となる。研修会の参加有無などを話すと「テーマが・・・」、「技術の習得を・・・」との声を聞くが作業療法の大事な技術である部分について県士会は事例検討会やMTDLPを通じて担保している。また、厚生労働省から頂く作業療法士への期待・課題の部分は日本作業療法士協会を通じての士会活動に落とし込んでいる。作業療法の技術、国民からの期待に沿うマインドを今一度多くの会員が持つ会を目指して参りたい。

「地域支援事業に資する人材育成研修会」 コロナ禍における地域支援事業への貢献 ～作業療法士としての自立支援を考える～ に参加して

看護ステーションリハケア 芦城 酒井 広勝

令和2年11月17日「地域支援事業に資する人材育成研修会」に参加した。「地域支援事業」での協会・県士会と市町村の現在までの活動状況の報告、そして具体的なオンラインやICTを使った発信方法について、最後は地域ごとにグループに分かれ「地域支援事業への関与【平成22年文化庁が明記】」についてコロナ禍によつての変化や今後どう変えたら良いかについて話し合った。半日の研修会であったが非常に内容が濃く、あっという間の時間であった。コロナ禍での協会・

県士会での迅速な対応と活動内容に改めて敬服した。中でも作成プロセスの報告のあった「暮らしのひと工夫紹介」は作業療法士らしい工夫を文章・動画にし、活用することは非接触型アプローチを進化させる絶好のチャンスととらえ、今後ご利用者へのアプローチに活用したい。地域ごとのグループワークではコロナ禍にあっても各人がこの状況を前向きにとらえて様々なことを考え、工夫し行っていることを知り、大変勉強になった。

健康福祉部 理事 寺尾 朋美

コロナ禍において、高齢者や障がいを持つ方々が感染予防のため活動・参加の場の休止や参加人数の制限、参加自粛を求められている中で、私たち作業療法士が自立支援や介護予防をどのように考え、どんな貢献ができるかを考える機会として本研修が開催された。

協会主催の研修会の伝達、石川県の活動報告、地域包括ケア推進委員会から報告、活動と参加を促進させるための発信力向上スキル、新たな施策の情報と様々な内容を参加者と情報共有し、時間が足りないくらいに活発な意見交換を行った。

コロナワクチンの接種、普及が始まってはいるも

ものの、以前のようなマスクが不要となる生活に完全にすることはしばらく難しく、全ての人が経験したことのない状況である中、作業療法士が高齢者や障がいを持つ方々を含めた様々な方々を対象に社会及び地域へ貢献できるよう、国、自治体及び協会等の方針や取り組みについて、今後も引き続き情報発信を行っていきたい。

最後に、専門分野や経験の有無に関わらず、多くの方にご参加いただきましたこと、地域包括ケア推進委員会及び健康福祉部を代表し、御礼申し上げます。

【キャリア教育支援】オンライン作業療法体験セミナーの開催

事業部部長 宮腰 真(地域医療機能推進機構金沢病院)

事業部は小中高校生に向けキャリア教育支援を通じた作業療法の啓発を行っている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、小学生の作業療法体験会、中学高校への会員訪問が中止となった。

コロナ禍でも可能なキャリア教育支援を模索し、2021年2月21日(日)に高校生を対象とした作業療法体験セミナーをオンラインで開催することができた。

参加者は高校生1～2年生が13名、教諭1名、保護者2名であった。例年であれば遠方のために参加しづらい高校生も、オンラインのメリットを生かして多数参加いただいた。一方、参加申し込みは20名を超えていたが、通信環境の問題などで参加できなかった高校生もいたようで、今後の課題となった。

さて、体験セミナーでは、①作業療法を楽しみながら学んでもらうクイズ、②作業療法の紹介動画、③臨床検査等の体験(ブレイクアウトルーム)、④作業療法士との懇談を行った。病院での開催が困難であったため、作業療法室の雰囲気を直接感じるこ

ができなかったが、木島病院と公立能登総合病院の協力を得て紹介動画(下の写真)を作成し、作業療法室の雰囲気や実際に働く作業療法士の声を届けることができた。高校生たちは楽しんでセミナーに参加し、作業療法への興味を深めていた印象であった。

初めてのオンライン開催ではあったが、連絡手段や通信状況の対応方法も見えてきた。高校生にとってのオンラインセミナーという方法は参加しやすく時代に即したものであること、高校生・教諭・保護者ともに医療に対する関心が高まっていることが感じられたセミナーとなった。

今後はキャリア教育支援の活動内容の充実と、また多くの小中高生に参加してもらえるよう広報活動や開催方法も含めて検討していく予定である。今年度開催できなかった小学生の体験会、中学・高校訪問、職業講話などの開催も実現できるよう代替法についても検討したい。そのためにも会員の一層の協力をお願いしたい。



作業療法の紹介動画より

「第29回石川県作業療法学会への想い」

第29回石川県作業療法学会 学会長 高多 真裕美(金沢脳神経外科病院)

作業療法について学ぶことは多い。私たちの「24時間・365日連続する生活全般の行為」に、対象者の課題を解決するヒントがある。しかし臨床では自分の知らない作業に従事している対象者が圧倒的に多い。知らない作業については、対象者からの情報はもちろんだが、その作業に詳しい職場の仲間、勉強会や学会で知り合った県内外の作業療法士から多くのヒントをいただいた。学会は、知識や技術を高めるだけではなく、いろいろな人と繋がる場なのである。

本学会では「ランチョンセミナー」にて、堀江翔氏(金沢大学附属病院)に作業療法教育について、五十嵐満哉氏(恵寿総合病院)にリスク管理についてご講

演をいただく。また「活動紹介」では、県士会活動やSIGなどについて紹介する。興味のあるなしではなく、対象者の作業に関係するあらゆることを知ろうとする行動が重要である。作業療法士として向き合わなくてはいけないテーマに少しでも触れ、活躍している人やその内容を知り、一緒に聴く仲間と繋がることで、「挑戦」が1つでも増えることを期待したい。



コロナ禍の精神科作業療法・デイケアから感じること

精神医療部 部長 坂下 美加代(小松市民病院)

精神医療部では今年度の勉強会をWebで開催し、コロナ禍での精神科作業療法、デイケアの実施状況を共有する時間を設けた。第1回勉強会(令和2年6月)では、普段の生活行為が制限されることに適応しきれない患者さんや感染する不安で閉じこもってしまう患者さんの様子が報告された。集団活動を扱う精神科作業療法、デイケアでは、感染症対策のために作業療法室が使えない状況、実施人数や活動内容の制限が必要など、混乱の状況下であり、参加者で情報を共有するとともにアイデアなど出し合った。いつになったら元通りの活動ができるのだろうとの声も聞かれ、先の見えない状況に我々も不安を感じていた。しかし、第2回勉強会(令和3年1月)では、新しい日常に馴染んできた患者さんの姿、感染症対策に配慮しつつ環境

やプログラム内容を工夫し、普段の質を保って作業療法、デイケアを実施している各施設の状況を知ることができた。

コロナ禍での課題は感染だけでなく、様々な物事が形を変えてしまうことへの悲しみや不安などもある。状況はすぐには変わらないため、捉え方、考え方を変えることが大切である。

今年度の勉強会では、今の状況に折り合いをつけながら、前に進むエネルギーを取り戻していく患者さん、作業療法士の姿を知ることができた。今後は、日々患者さんに向き合い、試行錯誤している私たち作業療法士が、日頃の頑張りを共有し、いたわり合える場を作っていけるよう精神医療部の活動を企画、運営していく予定である。

災害対策における現状と動向

災害対策委員会委員長 東 ひとみ (石川県リハビリテーションセンター)

JRAT石川(※)において2020年12月より全7回のシリーズでweb研修会が開催されており、毎回50名程の参加がある。JRAT石川の構成会員数から考えるともっと多くの方々の関心を集め参加していただけるよう、当委員会としては2021年度に向けた積極的な活動の展開を考えたい。

さて、去る2月13日(土)深夜、東北を中心に最大震度6強の地震が発生した。2011年3月の東日本大震災の余震と考えられており、約10年が経過しての出来事であった。今回の余震に関する様々な情報からは、東北地域では発災情報の共有、避難、必要な対応など、震災時の経験が活かされ、備えと対処行動ができていく様子がうかがえた。本県においては、2007年3月25日に能登半島地震が発生して14年が経過しようとしている。万が一、災害が起こった時「どこに避難すればよいのか」、不安な時「だれに聞き相談すればよ

いのか」、仕事している時「どうやって身内の安否を確かめたらよいのか」など、まず身近なことから考えて備えることが重要になる。災害対策委員会では、会員ひとりひとりがこうした個人レベルのことから備えをはじめ、職場、地域、団体組織へと災害対策の関心を広げていくことを支援していきたいと考える。そのためには、研修会の開催、参加で終わることがなく、会員がいつでも相談できるような、地域ごとの連携体制づくりが必要である。是非とも会員一丸となって支え合える災害対策の構築のため、協力をお願いしたい。

※ JRAT石川は日本リハビリテーション医学会北陸地方会、石川県理学療法士会、石川県言語聴覚士会、石川県介護支援専門員協会、および石川県作業療法士会の5団体で構成している。

作業療法士を紹介するビデオコンテストを実施！！

企画部理事 白山 武志 (金沢西病院)

種本 美雪 (専門学校金沢リハビリテーションアカデミー)

桂 靖典 (木島病院)

当士会は作業療法士を紹介するビデオコンテストを開催し、令和3年1月10日に募集期間が終了した。この度、応募いただいた会員にはこの場を借りてお礼申し上げます。

現在、当士会の理事連絡会出席者にてZoomにて審議を行っている。審議結果については令和3年3月中に当士会のホームページに掲載を行う予定である。また、応募頂いたコンテンツも皆様に視聴して頂け

るよう配信方法を検討している。その際には是非ともコンテンツを視聴頂きたい。



能登支部

支部長 小川 正人(恵寿総合病院)

2月6日(土)に能登支部研修会、第3回事例検討会を七尾サンライフプラザ(WEB併用)で開催し研修会25名、検討会22名(過半数が会場)の参加があった。県士会理事で加賀のぞみ園の中森清孝氏より「地域で今、求められている作業療法士の在り方」について、作業療法士が地域サークルやケア会議、市町と連携

し地域を変えていく実践が熱く語られ、会場参加者からもまず自分達の住む地域の課題をSurveyしようと声が上がった。検討会では4事例、時間一杯に活発な質疑応答が行われた。新年度も同様に研修、検討会を企画しており多くの参加をお待ちしている。

加賀支部

支部長 西村 幸盛(片山津温泉・丘の上病院)

第3回加賀支部MTDLP事例検討会の開催

1月20日(水)の事例検討会では18名が参加し、廃用症候群により動く事への不安が増大しながらも退院し、通所リハビリテーションにつながった事例について、不安の解消と退院後の情報共有についての在り方の検討がなされた。不安についてはより具体的

な評価を、情報共有は地域を巻き込んで、との意見が交わされた。事例報告後には理事である明福真理子氏による紆余曲折を経て晴れて事例登録に至った経過に関して、会員への励ましを込めながらの報告がなされた。

金沢西支部

支部長 長原 美穂(石川県リハビリテーションセンター)

今年度はオンラインでの事業実施ということもあり、手探りでの実施となったが全ての事業が実施できたことに関係者の皆様に深く感謝申し上げたい。

この原稿執筆時点で、事例検討会は16施設・延べ73名、MTDLP事例検討会は24施設・延べ85名、研修会は車椅子をテーマとし17施設より31名の方に参加

いただいた。研修会は、金沢福祉用具情報プラザの協力のもと、リハーサルを重ね開催にこぎ着けることができた。その甲斐もあり、31名の方に参加いただきかなりの好評を得ることができた。今後も会員の皆様が研鑽を積める場を提供していきたい。

金沢東支部

支部長 堀江 翔(金沢大学附属病院)

1月27日(水)にMTDLP事例検討会、2月5日(金)に一般の事例検討会を実施した。それぞれ事例登録合格までの報告や認定OTになるためのレクチャーなど、参加者によりプラスになる内容を提供している。Web登録の段階では参加者も少なかったが、両会と

も直接の声掛けにて人数は増加したため、登録される皆さんも是非お近くの会員をお誘いいただきたい。来年度も多数の参加が得られるよう、ミニレクチャー等は継続していく予定である。

選挙公示

公益社団法人 石川県作業療法士会 選挙管理委員会

公益社団法人 石川県作業療法士会定款第25条に基づき、役員選挙規定による役員候補者選挙を行います。

1. 役職名と定数について

- (1) 理事 (15名以上18名以内)
- (2) 監事 (2名)

2. 立候補の届け出について

理事選挙に立候補される方は、所定の届出用紙(役員選挙規定第1号様式)にて期間内に選挙管理委員会まで届出をお願いします。

届出用紙につきましては、県士会ホームページ>県士会について>情報公開>各種規定>選挙立候補届出用紙をダウンロードの上、理事・監事のいずれかを丸で囲み、提出をお願いします。

(1) 立候補受付期間：

令和3年3月15日～3月28日

郵送の場合には、当日の消印を有効とします。

(2) 立候補届出先：

〒920-8621 石川県金沢市小坂町中83番地
浅野川総合病院 リハビリテーションセンター
選挙管理委員長 小浦 綾乃 宛

※例年と届け先が異なりますので、ご注意ください。

(3) その他：

立候補者は、選挙公報にて意見等を掲載することができます。

200字程度にまとめ、立候補届と合わせて届け出て下さい。また、連絡可能なメールアドレスの記載をお願いします。選挙管理委員会からのメールにより、意見等のデータ送付を依頼することがあります。

3. 選挙について

立候補者が定数内であった場合には、無役表当選となります。

定数を超える立候補があった場合、令和3年5月に行われる総会にて、出席者による記号式投票選挙を行います。

生涯教育手帳移行申請についての通達・案内

教育部 担当理事 桂 靖典(木島病院)

2020年度より新生涯教育システムの運用が開始され、紙媒体での生涯教育受講記録は廃止された。教育部は2020年4月1日以降の県士会主催の研修の参加者記録を日本作業療法士協会へ提出している為、各自の会員のポータルサイトへ反映されている。ここでご注意を頂きたい。教育部が提出しているデータは2020年4月1日以降の研修であり、2020年3月31日までの受講記録については会員が自ら手帳移行申請を行わない限り、会員ポータルサイトへ反映されない。もし、2021年9月までに手帳移行申請を行わなければ、2020年3月末日までに受講してきた記録は全て失われ

てしまうのである。

この状況を避けるべく、教育部は全力で会員をサポートしてきた。手帳郵送作業や手帳移行申請方法の説明会を実施してきたが、手帳移行を終了した会員は少数である。これまでの自己研鑽の記録が失われる期限が差し迫っている。まだ手帳移行の期限まで時間もあるため、是非とも諦めずに作業を完遂して頂きたい。

年度末の診療報酬・介護報酬改定研修会でも手帳移行申請方法も含めて説明をさせて頂く。可能な限り多くの会員が手帳移行を完遂することを願っている。

◆◆◆令和2年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第5回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和3年1月14日(木) 19時～21時25分 Zoom使用によるWeb会議
2. 会場出席：東川、寺田、安本、麦井、村田、大西、寺尾、渡邊、高多、河野、桂、中森、白山、種本、永井、合歡垣、堀江、長原、西村、小川 以上20名 山本、山下(書記2名)

3. 議事

【審議事項】①令和3年度事業計画について・事務局管理運営教育部生涯教育制度課【新規】：新生涯教育システムの手帳整理作業と移行作業の方法を検討し、より多くの会員が移行できるようサポートしていく。・執行部 受託事業：金沢市受託事業の担当者が固定化しているので解決できるよう検討していく。・執行部 キャリア・パス開発：石川県として独自の卒後教育を実施していく。・事業部 キャリア教育支援：SNSの活用などで財政状況に応じた規模で対応していく。・地域保健福祉部福祉課【新規】：従来の地域包括ケアシステム推進委員会の名称を変更する。OT協会の地域包括ケアシステム推進委員会の今年度終了に伴い、今後は中部地区ブロックでの活動となる。・福祉機器部【新規】：作業療法にとって重要な分野であるため従来の社会福祉部の名称を変更する。OT協会が行っている生活行為工夫情報モデル事業や情報提供機能の拡充などの取り組みに対応できるよう、当会としても体制を整えていく。・在宅支援部通所領域【新規】：通所事業における作業療法の専門性を学んでいく。・発達障害支援部：特別支援学校と医療等外部専門家との連絡協議会議が発足したので、対応できる人材を選出する。・学術部：次年度は形式を問わず石川県学会を開催する。・金沢西支部：参加・発表している施設が固定化しているので、参加者を増やしていく。・能登支部：研修会や事例検討会等を他支部とタイアップして開催することで、幅広い経験年数の会員が参加できるようにする。

②令和3年度予算について、新会員・会員の懇親会について、会場開催が困難であればオンライン開催を実施する予定。一部の持ち出し事業を除きできるだけ赤字予算にならないよう各事業で支出事項を見直し、3月に開催される理事会で承認を図る。

③運転と作業療法に関する委員会の勉強会開催方法について、参集とオンラインを同時に行うハイブリッド開催では費用対効果が少ないと思われるので、現状ではオンライン開催のみでも可能とする。

④運転と作業療法に関する委員会の勉強会における情報提供者への謝礼について、謝金規定にある時間や資格の有無などで可否を判断していく。

⑤研修会等の参加費徴収方法及び決済の管理方法について、これまでのような財務一括で行うのではなく各事業担当者が個人のYahoo! IDを活用して各部・委員の事業で徴収・管理していく方法で検討していく。

⑥会議費の支払い方法について、現状は施設間の交流が困難な状況にあるため、今後は会員個人の口座への入金を基本とする。当会の流動資産用金融機関である北国銀行のネットプランを変更することで、会員への会議費等の振込に生じる振込手数料を無料化する(プラン使用料1100円/月→3300円/月に変更)。

会議費の支払いは当面、毎年9月と3月の2回とする。承認

【報告事項】①教育部：生涯研修の参加者リストを協会へ提出する際に会員番号と名前が不一致の場合は受理されない可能性があるため、締め切り後に追加で参加する会員に対しては会員番号と名前の照合確認をお願いする。

②精神医療部：就労支援の要請があった場合にOTとして速やかに対応できるよう、研修では事例を通してOTの視点をプレゼンできるようにしていきたい。

③広報部：COTOT6号は1月の発行を予定していたが、編集の都合により2月または3月に変更する。

インフォメーション

令和3年度 会費納入についてのお知らせ

- ・ **継続** 石川県作業療法士会年会費：8,000円
 - ・ **新規** 4月以降に県士会へ新規入会：13,000円（入会費5,000円＋年会費8,000円）
- 【納入期間】令和3年4月1日～令和3年4月末日（期間厳守でお願いいたします）
- 【納入先】
- 北國銀行 野田支店 普通 260902
公益社団法人 石川県作業療法士会 会長 東川哲朗
 - 郵便振替 00720-7-22369 公益社団法人 石川県作業療法士会
ネットバンキングの場合：ゆうちょ銀行 当座預金 支店079 口座番号0022369

職場変更・自宅住所変更がある場合は届出もお忘れなく！！

県士会ホームページ（<http://www.ishikawa-ot.com>）より
『会員の皆様へ』（スマホの場合は右上のメニュー）→『入会・異動・退会手続き方法』へ

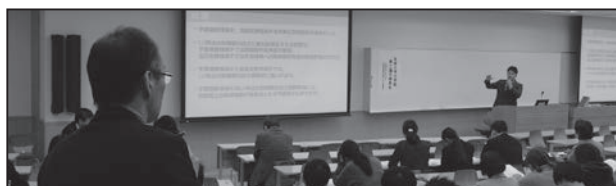
お問い合わせ先（公社）石川県作業療法士会 事務局
jimu-n@ishikawa-ot.com FAX：076-259-0681

令和3年度 公益社団法人 石川県作業療法士協会 総会（予定） ～表彰式典・新人歓迎会～

日程：5月15日（土）

場所：ホテル金沢

※COVID-19感染の拡大状況によっては変更あり



「超高齢社会」、
そして「アフター・コロナ」に向けて。
現場の悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。

金城大学 大学院で学んでみませんか？

総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

- ・遠隔オンライン学習対応
- ・就業しながら学べる昼夜開講制
- ・安心設定の学納金



2019年度 作業療法士 他、国家試験、現役生全員合格！
金城大学 国家試験合格率 100%（2019年度卒業生実績）

介護福祉士	第32回	35人／35人
理学療法士	第55回	58人／58人
作業療法士	第55回	17人／17人
看護師	第109回	76人／76人



金城大学

詳しくは、本学ホームページで
ご確認ください。



全国に広がる有料老人ホーム

パーキンソン病専門 PDハウス

施設 ビジョン

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気でもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの想いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

働き方改革 目標

2023年に向けた目標

公休数 120日	残業 0時間	有給取得 100%
-------------	-----------	--------------

PDハウス野芥 笠松 朋枝

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けてもらうことが多いのですが、これからは私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

■ 関東エリア

■ 北海道エリア	PDハウス相模大野 2021.01
PDハウス西野 2020.11	東京1号店 2021.夏
札幌2号店 2021.春	神奈川2号店 2021.秋

■ 福岡エリア

PDハウス有田 2020.06	PDハウス岸部 2021.06
PDハウス今宿 2021.05	大版2号店 2021.秋

働き方公開中！

介護サービス サンウェルズ

0120-905-166

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会
医療法人積仁会

金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウオーター・リンク株式会社北陸支店
株式会社ヤマシタ
セントラルメディカル株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院
学校法人阿弥陀寺教育学園

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードから県士会webにアクセスして登録して下さい。
登録いただいたメールアドレスに研修会の情報などをML配信します。



会員数

会員数 862名 認定作業療法士 31名 専門作業療法士 5名 (令和3年2月現在)

新入会員名簿

勤務先	氏名
すずみが丘病院	岡本 尚子

編集後記

「2月7日、日本DMAT隊員の編集人にも、感染したクルーズ船への派遣要請が届いた」

ちょうど一年前の編集後記に書いた文章である。あれからコロナ禍は、状況変化を遂げつつも依然として継続している。編集人の職場でも病棟編成が行われ、リハビリテーション病棟がコロナ病棟に変わり、会員の働き方にも大きな影響を与えた。今月号は、そのようななかでの県士会活動の動向と今後の展望をテーマに発行させていただいた。今年は「辛丑(かのとうし)」。「辛」は「磨き上げられた宝石」、「丑」には「我慢・これから発展する前触れ、芽吹き」という意味があるそうだ。変わらなければならないこと、磨き上げて残さなければならないこと、これを機に新たな可能性の展開を期待したい。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：明福真理子、白山武志、酒野直樹、田中菜美、萬貴裕、藤田隆司、川口朋子、寺井利夫、
太田哲生、佐藤望、網谷郁美、西谷早紀、南朱音、上野玲子、福岡翔平、村井俊太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社